

2023年9月28日

各位

株式会社オーネックス
代表者名 代表取締役社長 鶴田 猛士
(コード番号 5987)
問合せ先 常務取締役管理本部長 田島 圭子
(TEL. 046-285-3664)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は本日開催の取締役会において、資本コストや資本収益性について現状を評価・分析し、改善に向けての目標・取組み方針について決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 現状評価・分析

(2023年6月末の財務数値及び株価を基に算出)

ROE	株主資本コスト	エクイティ・スプレッド	PBR
3.9%	6.4%	△2.5%	0.3倍

2023年6月末時点では、ROEが株主資本コストを下回る状況となっており、また、PBRについても0.3倍と1.0倍を下回っており、改善が必要なものと考えております。

2. 方針・目標

上記の現状分析を踏まえ、株主資本コストや株価を意識した経営を通して、財務健全性を確保しつつ、事業構造改革を推進し効率的な経営を行うことで、持続可能な成長と中長期的な企業価値の向上の実現を追求してまいります。

3. 具体的な取組み

① 事業構造改革の推進

「厚木工場と東松山工場」、「山口工場とオーネックステックセンター」は、それぞれ一人の工場長が指揮監督することにより、迅速な意思決定ができ、人材も有効的に活用できるなど柔軟に運用していきます。

「多能工化・定量化推進プロジェクト」の立ち上げ

2023年3月に発足、人材教育を継続することで多能工化を図り、さらに熱処理設備の自動化を推進することで人手不足に対応します。また、従業員作業量を定量化し、可視化することで業績へ貢献度を明確化することにより「ムリ」「ムダ」「ムラ」を排除し生産性向上を図ります。

② オーネックステックセンターの成長

東海、中部、関西方面を主な事業エリアとし、産業工作機械関連の割合が多いのが特徴です。当社グループの経営戦略として飛躍的な成長が期待できる東海、近畿圏をカバーし、新規開拓を推進しておりますが、さらなる飛躍を目指し市場浸透、市場開拓を進めていきます。

③ I R活動の活性化

新型コロナウイルスの感染拡大もあり、当社のI R活動は必要最小限の情報開示に留まっており、企業活動の周知を積極的に行ってきたとは言い難い状況でありました。I Rは、株主の皆様をはじめ、株式市場における当社の認知度、注目度を向上させる重要なツールであることを再認識し、当社の魅力を積極的に情報発信してまいります。

以上